学校番号	３２３

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	地理特論	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	※ 学校設定科目のためなし						
副教材等	地理探究　（山川出版社） 地理探究ワークブック　（山川出版社） 地理統計要覧　２０２６年度版　（山川出版社） Ｗｉｎｎｉｎｇ　ＣＯＭ．－ＰＡＳＳ　地理の整理と演習　２０２６　（東京法令出版） 詳説現代地図　最新版　（二宮書店）　※ 継続使用						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次の地理総合で学習した基礎的な内容を、系統地理の各分野と地誌の事例地域を体系的に捉え、相互に連携しあっていることを理解し、地理探究の学習の実践力へと伸長する。また、この授業では、系統地理に主眼を置き、成因や空間的な規則性、相互の関連性、現在の動向などを地誌と関連づけて把握し、地理総合での学習事項を基盤にさらに理解を深める。

地誌においては、１年次に学習した内容の復習として取り扱い、変化の激しい国際情勢を鑑み、各地域の特色と課題を大まかに把握する程度に留める。

大学入試に対応すべく、必要な知識と技能をまとめるために問題集を用いての過去問の演習や、大学入学共通テストのもとめる「思考力」や「判断力」を身につけ、地形図・主題図・写真を読み解く「地理の技能」を育くむ。

2　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。また、地図や地理情報システム（ＧＩＳ）などを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

1	自然環境	① 地形 1 世界の地形と地形をつくる力 2 プレートの運動が地形におよぼす影響 3 地震と火山 4 造山運動と世界の陸地 5 河川がつくりだす地形 6 海岸にみられる地形 7 さまざまな環境で形成される地形 ② 気候と生態系 1 水の循環と利用 2 海洋の循環 3 大気の大循環と気候 4 気候の地域性 5 植生と土壌 ③ 世界各地の自然と生活 1 世界の気候区分 2 熱帯の自然と生活 3 乾燥帯の自然と生活 4 温帯の自然と生活 5 亜寒帯と寒帯の自然と生活 ④ 日本の自然環境と防災 ⑤ 地球環境問題 1 環境問題に関する大観 2 越境する汚染 3 地球温暖化の現状 4 地球温暖化への対策	a:各単元の項目の内容などについて理解することができる。 a:各単元の項目の内容などについて、さまざまな情報やグラフを適切かつ効果的に読み取り、まとめることができる。 b:各単元の項目の内容などについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各単元の項目の内容などについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査・レポート課題	レポート課題・授業プリントの提出・問題集の提出

2	資源と産業	① 農林水産業 1 農業の諸条件 2 社会の発展と農業の変化 3 グローバル化・技術革新と農業 4 林業 5 水産業 6 食料問題 ② 資源・エネルギー 1 社会の発展と資源の利用 2 世界の鉱産資源 3 世界のエネルギー資源とその課題 4 電力の利用と変化 ③ 工業 1 社会の発展と世界の工業化 2 工業の立地 3 工業地域の形成と変化 4 自動車工業の特徴と日本の海外生産 5 国際分業の進展と多国籍企業 6 工業生産のグローバル化に伴う諸課題 ④ 第3次産業 1 サービス経済化と社会の変化	a:各単元の項目の内容などについて理解することができる。 a:各単元の項目の内容などについて、さまざまな情報やグラフを適切かつ効果的に読み取り、まとめることができる。 b:各単元の項目の内容などについて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各単元の項目の内容などについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査・レポート課題	レポート課題・授業プリントの提出・問題集の提出
	人・モノ・金のつながり	① 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 世界を結ぶ通信 ② 貿易・観光 1 世界を結ぶ貿易 2 世界と日本の貿易とその課題 3 世界を結ぶ資金の流れ 4 世界を結ぶ観光とその課題				

	人口、村落・都市	① 人口 1 人口推移と分布 2 人口構成と人口転換 3 人口移動 4 人口増加地域，減少地域の人口問題 ② 村落・都市 1 集落の成り立ちと機能 2 都市の成り立ちと機能 3 世界の都市・居住問題と解決への努力				
3	文化と国家	① 生活文化と言語・宗教 1 生活文化と地域 2 世界の衣服 3 世界の食生活 4 世界の住居 5 世界の言語 6 世界の宗教 ② 国家とその領域 1 国家の形成と領域 2 世界の民族・領土問題 3 日本の領土に関する問題 4 海洋国家としての日本 5 国際連合の役割と課題	a:生活文化と宗教や国家などについて理解することができる。 a:地図やGISなどを用いて、さまざまな情報やグラフを適切かつ効果的に読み取り、まとめることができる。 b:世界の衣食住や言語・宗教の地域性、国家の特徴や国家の結びつきなどに着目して、主題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c: 生活文化と言語・宗教、民族・領土問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	授業内テスト	授業内テスト・レポート課題	レポート課題・授業プリントの提出・問題集の提出

	現代世界の諸地域の復習	1 中国 2 朝鮮半島 3 東南アジア 4 南アジア 5 西アジア・中央アジア 6 北アフリカ・サブサハラアフリカ 7 ヨーロッパ 8 ロシア 9 アングロアメリカ 10 ラテンアメリカ 11 オーストラリア 12 ニュージーランドと島嶼国	a:地域の概念や地域区分の意義、有用性を理解し、地域区分の方法を身につけている。 a:地域区分の学習を通して、現代世界の多様性・多面性について理解することができる。 b:州や自然、文化、国家群などで地域を区分する方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 b:地域区分の概念、意義を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 c:現代世界をいくつかの地域に区分する方法や、地域の概念、地域区分の意義、その有用性を基に、地域区分に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、かつ活用しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度